

和華蘭の窓

長崎大学附属図書館報
THE BULLETIN OF THE NAGASAKI UNIVERSITY LIBRARY

2015.7 No. **125**

注目! 図書館男子

附属図書館長就任挨拶	2
経済学部分館長就任挨拶	3
注目! 図書館男子	4-6
topics	7
information	8

世界と交流し地域とともに 成長していく図書館をめざして

附属図書館長 中田 英昭



図書館は「大学の知」の宝庫

There are few earthly things more beautiful than a university (地球上で大学以上に美しいものは稀である)。米国の故ジョン・F・ケネディー大統領は、1963年にアメリカン大学の卒業式において世界平和と軍縮を呼びかけた有名な演説の冒頭で、英国のある詩人の言葉を引用しました。大学の美しさがその景観を意味するものでないことは言うまでもありません。それは、大学が「無知を嫌う人たちが知識を得ようと努力し、真理を知る人たちが他者に真理を知ってもらおうと努力する場所」であるからです。長崎大学附属図書館は、そういう「大学の知」の宝庫であると同時に、学生等の学修支援を通してそれを育み、国内外に発信していく「知」の交流・発信の拠点として重要な役割を果たしています。

長崎は国際的な「知」の拠点

長崎は古くから世界に開かれ、長崎港の開港以来450年間に及ぶ国際交流の歴史を持っています。オランダをはじめとするヨーロッパや中国・韓国等のアジアから長崎に伝えられた、その当時最先端の科学・技術が、明治維新以降のわが国の発展に大きく貢献したことは周知の通りです。長崎大学の附属図書館に所蔵されている幕末・明治期の古写真やグラバー図譜、近代医学史関係資料、日蘭交流関係資料（日蘭文庫）等は、わが国の歴史資産として大変貴重なものです。そうした貴重資料の多くは、電子化されインターネットで公開されていますので、ぜひご覧下さい。図書館は、長崎歴史文化博物館や長崎市立図書館等と連携して上記の貴重資料の展示会を開催するなど、地域社会への学術情報提供の面での貢献にも力を入れています。

書物を通して時間を越えた「知」の交流を

最近ではICTの発達により、書物のような紙の情報だけでなく、電子化された文字、写真、映像等によって様々な情報を効率的に伝えることができるようになってきました。私たちは、いわば「膨大な電子情報の海」の中で生活していると言っても過言ではないように思います。自分が本当に必要とする情報を選択していくためには、この情報の海を渡っていく羅針盤のようなものを身に付ける必要があります。学生の皆さんには「資料収集ガイド」等の時間に、電子化された情報を自学・自習に有効に活用するための方法についてアドバイスを与えるようにしています。

このようにインターネット等によって情報はすごいスピードで世界をめぐるっていますが、それは人間が物事を

しっかりと考え何かを新たに創り出していくための時間の余裕を奪ってしまい、ある意味で底の浅い、拾い集めの知識が集積されていく傾向を助長しているようにも思います。さまざまな事象が複雑に絡み合い、価値観が多様化し、人間社会のシステムの全体的な動きが見通しにくくなっている、そういう時代にこそ、心静かに先人が書き残された書物に親しみ、その知恵に学ぶようなゆっくりとした時間を持つことが必要ではないでしょうか。

「知」の拠点としての環境整備

2013年4月に中央図書館、2014年5月には医学分館をそれぞれリニューアルオープンしました。老朽化が進んでいる経済学部分館についても改修の実現に向けて努力を重ねてまいります。これからも学術情報に関する時代や社会の新たなニーズ、学生のニーズに応えながら、世界と交流し地域とともに成長していく図書館として、その機能や体制の整備に努めたいと考えています。「知識や情報を得るための自学・自習の場」として、「長崎の歴史や文化に触れる場」として、あるいは「各種のフォーラムや憩いの場」として、図書館を積極的に活用していただきますよう、よろしくお願い致します。

私のオススメ



クアトロ・ラガッツィ：
天正少年使節と世界帝国
／若桑みどり著、集英社

1582年2月20日に、4人の少年を乗せた船が長崎を出帆したことをご存知でしょうか。書名の「クアトロ・ラガッツィ」はイタリア語で4人の少年という意味で、この本は、世界帝国の大波が押し寄せていた信長・秀吉の時代にローマ教皇庁に派遣された天正少年使節、伊東マンショ、千々石ミゲル、中浦ジュリアン、原マルティーノの運命を、その当時の時代背景とともに、原資料の分析にもとづいて克明に描いたものです。東西の文化交流に重要な役割を果たしながらも、帰国した後、禁教政策のため国外追放あるいは殉教という目にあった彼らの一生を問うとき、著者の「人間の価値は、社会において歴史において名前を残す傑出した人間になることではない。それぞれが自己の信念に生きることである。」という言葉は鮮烈です。今ならば中学生にすぎない少年たちが、歴史の歯車の中で大きな役割を担われ、しかも各自が真摯にその運命に従って生き抜いたことに深い感銘を受けます。長崎が物語の舞台になっていますし、歴史に興味のある人はぜひ一読を。

経済学部分館長になって



経済学部分館長 深浦 厚之

4月1日に附属図書館経済学部分館長に就任いたしました。本稿ではこれまで私がどのように図書館とつきあってきたかを簡単に紹介し、ご挨拶とさせていただきます。

小学校時代

世に図書館（室）というものがあることを知った1年生の時。気に入った絵本や図鑑をすべて買ってもらえなかった私にとって、小学校の図書室はまさに楽園でした。初めて手に取った本が忘れもしない「ものがたり 織田信長」。口絵には華麗な甲冑を身に纏い、雷鳴の中、敵陣めがけて山肌を駆け下る信長の姿が描かれていました。こんな人がいたなんて知らなかった、本を読むと物知りになれる・・・私の図書室初体験です。

中学校時代

読書の幅が次第に広がり、行きついたのが「松本清張全集」。2年ほどかけて全巻を読みました。とりわけ「日本の黒い霧」「昭和史発掘」等の暴露ものに惹かれ、俗に言う“左翼病”に感染してしまいます。幸い重篤な事態に至る前に回復しましたが、社会とは人間の生き様の中に潜む秘境であり、その清らかさと穢れがともに人を魅きつけるのだと知りました。長じて社会科学を専攻する素地が敷かれたといえるでしょう。

大学時代

高校のころはなぜか図書室から足が遠のき、大学では古書に興味移ります。ある古本屋と懇意になり、古地図や南画、古文書などを前にいっぱしの文人を気取ったものです。しかし卒論を書くため大学図書館に回帰。それまで勉強といえば「本を読むこと」でしたが、研究の主戦場は学術雑誌論文であり、それには英語力が必須だと知り、困惑したものです。人並み以上に読書してきたとの自負を動揺させた大学図書館でした。

そして、今

今思えば、図書館・図書室という空間それ自体が私にとって大切だったようです。それは決して広大な空間ではありません。しかしそれは自分の知らない世界がなす小宇宙です。時にゆったりと身を委ね、思考の遊泳を楽しむことができます。時には何かを発見できるでしょう。人生にとってこれ以上に贅沢な場所があるのでしょうか。私たちは深淵膨大な人智の集積に包まれて生きています。そのことを謙虚に体感できるのが図書館だと思います。

私のオススメ



おもかげ /
山本周五郎著, 新潮社
(「人情裏長屋」所収)



豊饒の海 /
三島由紀夫著, 新潮社
(「春の雪」「奔馬」「暁の寺」
「天人五衰」からなる全4巻)



ツバメ号とアマゾン号
/ アーサー・ランサム著,
岩波書店
(アーサー・ランサム全集:
全12冊)

大学での数年間は、親から離れゆく時期であると同時に親になるための準備の時期ともいえるでしょう。この短編は親の心性の奥深さ、暖かさ、哀しさを見事に描いています。文学的成熟度という点では若干物足りないかもしれませんが、読後感の心地よさは第一級です。親元を離れている諸君には「二粒の飴」（「髪かざり」所収）も同じくお勧めです。

論理的に考え、話し、書く能力を鍛えるには、“しっかりと書かれた”文学作品を読むことも効果的です。この作品は精密機械のような物語構成、知性と官能の綾、行間の深み、等々、小説に必要な要素を網羅しています。なによりも適切な日本語、正確な日本語の最高のお手本です。昨今のライトノベルと異なり読破には忍耐力が必要ですが、挑戦する価値は十分にあります。

「ツバメ号とアマゾン号」以下全12冊にわたり繰り広げられる少年少女の冒険物語。読んだことがある人も多いと思います。ストーリーが面白いのはもちろん、リーダーシップ、チームワーク、コミュニケーション、プランニング、リスク管理など、社会人に必要なスキルを学ぶにはうってつけです。大人の鑑賞に堪える良書です。

図書館男子・・・

それは長崎大学附属図書館を
盛り上げるために活動をして
くれている素敵な男子学生の
こと。

注目！ 図書館男子

図書館といえば、女子なイメージがあるかもしれませんが、長崎大学の図書館では男子学生が女子に負けないうくらい積極的に活動しています。

今回は、そんな図書館男子に注目し、図書館サポーターとワークスタディ・アシスタントがどんなことを行っているか紹介します。



図書館 サポーター

図書館サポーターとは、平成25年度に発足した学生ボランティア組織です。学生目線からのより良い図書館づくりを目指して、様々な取り組みを行っています。現在は1年生から院生まで計10名が登録、うち5名の図書館男子が活動中です。

白熱★ビブリオバトル

昨春秋初めて図書館で開催したビブリオバトル。今年度は活動の一つとして定期的に行っています。5月18日(月)に開催した1回目では、テーマを特に設定せず自由におすすめ本を紹介する形式とし、中央図書館グループ学習室で実施しました。

【バトル本(発表順)】

👑 筑豊の近代化遺産	山本さん
👑 英国一家、日本を食べる	後藤さん
中原の虹	松村さん
はたらきたい。: ほぼ日の就職論	橋田さん
氷菓	松尾さん



すべて図書館に所蔵あり。ぜひ読んでみてください

サポーターからバトルとして発表したのは、昨年も参加した2人の図書館男子。今回のチャンプ本紹介者である経済学部3年の山本さんは、5分ピッタリに終わらせるという成長ぶりを発揮し、一同を唸らせた。

やってみたらor見てみたら、きっとおもしろさがわかるはず。どなたでも参加OKですので、気になった方はカウンターまでお問合せください(次回は夏休み明けの10月上旬を予定しています)。

ビブリオバトルとは

「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーに、図書館や書店で全国的に広がりを見せる本の紹介コミュニケーションゲーム。プレゼンテーション力の向上など、その教育的効果にも注目が集まっている。

公式ルール

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に一人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッション2〜3分行う。
4. 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか?」を基準とした投票を参加者全員で行う。最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

(公式Webサイトより <http://www.bibliobattle.jp/koushiki-ruru>)

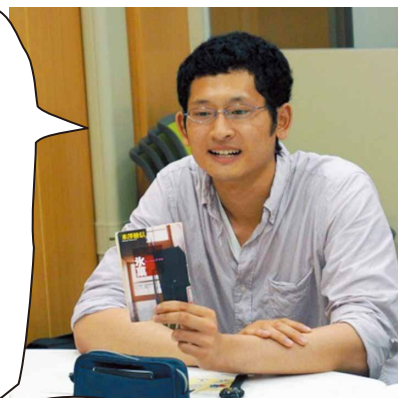
参加バトルー

(上段)図書館サポーター
山本さん・松尾さん
(下段)図書館職員
松村さん・橋田さん・後藤さん

僕の地元・筑豊の石炭なくして日本の近代化はなかった!



「氷菓」というタイトルの意味がわかった時、背筋がぞっとする!



高校生の時に読んで7回泣いた。そのくらい好きなシリーズです



仕事をする上で私にとってのお守りです



流しそうめんがよくわからない等、日本人にはない視点がおもしろい



サポーターの活動として今回はビブリオバトルを主にご紹介しましたが、他にも文学賞受賞作品の展示や選書ツアー、イベントの企画など図書館でやりたいことを自由に提案し、実施しています。

教員のみなさま

授業でビブリオバトルを取り入れてみませんか? 図書館がサポートします。

問合せ先: ssabisu@lb.nagasaki-u.ac.jp

ワークスタディ・アシスタント

図書館サポーターとの違いは、大学運営の補助的業務をするアルバイト長大生であることです。図書館では、カウンター業務やデータ入力、書架整理などを行っています。

現在ワークスタディ・アシスタントとして勤務してくれている各館の図書館男子に、勤務してみた感想を寄せてもらいました。

是非、皆さんも図書館に足を運んで様々なサービスを体感してください。

氏野 友貴 工学部工学科機械工学コース3年

私は2015年1月から採用されました。図書館の受付で働いているイメージが強いかもしれませんが、ワーキングアシスタントとしての私の持ち場は受付ではなく主に図書館職員の補助です。具体的な仕事は、2階の開架図書の整理や雑誌書庫の整理、パソコンのデータ入力などです。今年の新入生の方は見たことがあるかもしれませんが、新入生の図書館案内ツアーのサポートもしていました。職員方は優しく非常に働きやすい環境で助かっています。

私はワーキングアシスタントになるまで、図書館は印刷やレポート、3階でテスト勉強をする場所という認識でした。しかし、この仕事を通じて図書館には様々な分野の膨大な本が貯蔵してあることを知り、様々な

サービスがある事を知りました。例えば、受付の横の参考文献調査カウンターではスキナーの貸し出しを行っています。家にプリンターが無い人にとってコンビニでお金を払わなくて済むので非常に有難いサービスです。

是非、皆さんも図書館に足を運んで様々なサービスを体感してください。なにか分からない事があれば首にストラップをかけているスタッフにいつでも声をかけてください。



図書館案内ツアーの様子

学部生にはもっと図書館を活用してほしいと思います

濱野 淳朗 医学部医学科5年

2月より医学分館ワークスタディアシスタントとして働かせていただいております。業務内容は本のブックカバー掛け、パソコンを使った入力業務などをさせていただきましたが、なかでも面白かったのは古い本の和綴じです。

長崎大学医学部は日本の西洋医学発祥の地であり、当時の学生が講義を記録した貴重な本が多数保管されています。それらの本の綴糸が経年劣化のため切れてしまったものを新しく綴じ直す仕事をさせていただきました。貴重な本を傷めないよう注意を払いながら慎重に作業をしつつ、大先輩方の努力が今の医学の礎となっていることを感じ、歴史の積み重ねを感じ背筋を

正される思いでした。

4月よりカウンターで貸出・返却や本の検索のお手伝いもさせていただいております。図書館は情報の宝庫なのですが、積極的に活用しているのは学部生よりも病院や大学院の先生方のような気がします。学部生にはもっと図書館を活用してほしいと思いますし、図書館をさらに良くするアイデアを出してほしいと思っています。



カウンターでの利用相談

もっと図書館の資料を上手く活用していれば

久留 和広 経済学部総合経済学科4年

私は1月から経済分館のワークスタディアシスタントとして働かせていただいております。図書館職員の補助として、書架の整理や特設コーナーにて本の紹介をさせていただいております。

私が経済分館で働き始めて感じたことは、私が想像していた以上に多くの図書が所蔵してあるということです。経済分館は小さいながらも武藤文庫をはじめ、歴史的にも貴重な資料を多数所蔵しています。

私は図書館に勤務するまでは、学習場所として2階閲覧室を利用する程度でした。今思えば、もっと図書

館の資料を上手く活用していれば授業やゼミの理解がより深まっただろうと少し後悔しています。経済分館には、特に経済学の専門書と資料が多数所蔵しています。ゆえに学部生の方にはレポート等作成の際は、もっと積極的に図書館を活用していただきたいです。

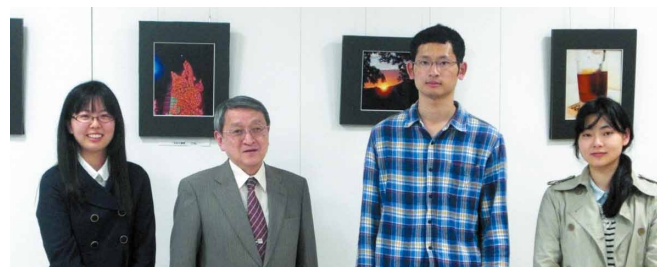


書架でのチェック作業

▶ ベストリーダー決定！ & 図書館サポーターいつもありがとう。

4月27日(月)に、ベストリーダー表彰式と図書館サポーター感謝状贈呈式を行いました。ベストリーダーとは昨年度本を最も多く借りた学生のことで、今回は各学部1名ずつ(医学部は医学科と保健学科各1名)計10名を対象とし、中田附属図書館長より表彰状と副賞(図書カード2千円分)が贈られました。他のみなさんも図書館をどんどん利用して、次のベストリーダーを狙ってみたいかがでしょう。

また、図書館に貢献してくれたことへ感謝の意を表し、図書館サポーターへ感謝状を贈呈しました。今年度は新入生4名が加入し、活動中です。(詳しくは5ページをご覧ください)。いつも盛り立ててくれてありがとうございます！これからもよろしくお願いします。

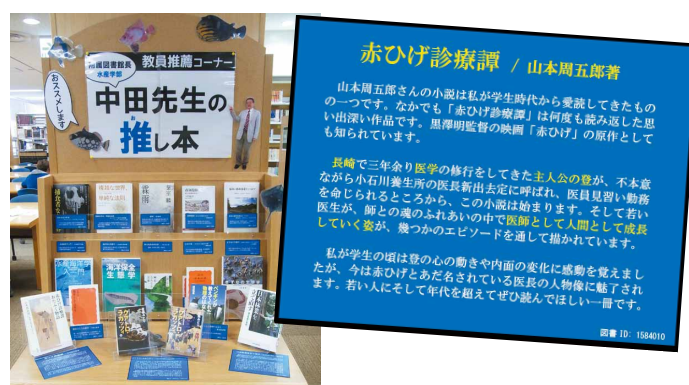


左から水産学部3年・西間庭恵子さん(ベストリーダー)、中田館長、教育学部2年・松尾知弥さん(サポーター)、環境科学部3年の辻松茜さん(ベストリーダー)。いつも図書館をご活用いただき、ありがとうございます★

▶ 教員推薦図書コーナーを新設

中央図書館では、6月より教員推薦図書コーナーを2階開架フロアに新設しました。コーナー第一弾として、中田附属図書館長のおすすめ本15作品を現在展示中です。館長のご専門である水産学関係の図書から、学生時代に親しまれた小説まで、学生のみなさんに読んでほしい幅広い分野の本がセレクトされています。貸出できますので、ぜひご利用ください。

↓ 推薦図書リスト。館長による本の紹介文が読めます。
http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/use/tenji/kyoin_1.html



▶ 本学教員著作 / 本学関連資料 (2015年2月～2015年5月ご惠贈分)

近江 美保 准教授 [多文化社会学部]	所蔵館	図書ID
貿易自由化と女性：WTOシステムに関するフェミニスト分析 / 近江美保著 尚学社, 2013.6	中央	1585381
片岡 千賀之 名誉教授 [水産学部]	所蔵館	図書ID
西海漁業史と長崎県 / 片岡千賀之著 長崎文献社, 2015.5	中央	1585619
滝澤 克彦 准教授 [多文化社会学部]	所蔵館	図書ID
越境する宗教：モンゴルの福音派：ポスト社会主義モンゴルにおける宗教復興と福音派キリスト教の台頭 / 滝澤克彦著 新泉社, 2015.3	中央	1584770
	経済	3180998
辻 峰男 教授 [工学部]	所蔵館	図書ID
パワーエレクトロニクスと電動機制御入門 / 辻峰男[著] 辻峰男, 2015	中央	1584845
	NAOSITE	
中島 正洋 教授 [原爆後障害医療研究所]	所蔵館	図書ID
長崎大学医学部原研病理教室開講50周年記念誌 / 長崎大学原爆後障害医療研究所放射線障害解析部門腫瘍・診療病理学研究分野(原研病理)教室, 2015.3	医学	2148998

NAOSITE ... 長崎大学学術研究成果リポジトリ「NAOSITE」から、全文の閲覧及びダウンロードが可能です。是非、ご利用ください。

長崎大学病院へき地病院再生支援・教育機構	所蔵館	図書ID
へき地病院再生支援・教育機構の歩み 平成26年度版 長崎大学病院へき地病院再生支援・教育機構, 2015	中央	1584809
	医学	2149000
ながさき県北地域医療教育コンソーシアム：活動報告書：地域新時代 第3次長崎県地域医療再生計画事業ながさき県北地域医療教育コンソーシアム, 2014	中央	1584810
	医学	2149001
長崎大学熱帯医学研究所グローバルCOE推進室	所蔵館	図書ID
長崎大学グローバルCOEプログラム熱帯病・新興感染症の地球規模統合制御戦略研究成果報告書 平成24年度 長崎大学熱帯医学研究所グローバルCOE推進室, 2013.3	医学	2149064
長崎大学皮膚科学教室	所蔵館	図書ID
長崎大学皮膚科学教室長崎大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学分野開講100周年記念誌 長崎大学皮膚科学教室, 2015.3	医学	2149124
長崎公衆衛生懇話会会長 草野洋介	所蔵館	図書ID
長崎大学医学部公衆衛生学教室開講60周年記念誌 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野：長崎公衆衛生懇話会, 2013.3	医学	1843785
長崎大学総務部総務企画課	所蔵館	図書ID
市民シンポジウムin長崎2014：産業遺産、被爆遺構の保存と活用を考える 長崎大学総務部総務企画課, 2014	中央	2149063

information

■ リザーブブックをご利用ください (医学分館)

医学分館では、貸出回数が特に多い図書や、先生が指定された図書69タイトルを、リザーブブックに選定し、いつでも図書館内で利用できるようにしました(館外への貸出はできません)。図書館の中での学習や、調べものにご活用ください。

■ 第42回館内展示 (中央図書館)

持ち運びやすい文庫や新書は、旅のお供にうってつけ！
ぜひご利用ください。

テーマ：この夏おすすめの文庫・新書

期 間：7月21日火～9月30日水

場 所：中央図書館2階展示コーナー

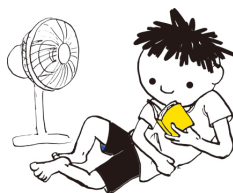
■ 夏季長期貸出

今年も夏休みに合わせた長期貸出を実施します。長～い夏休み、自分を高める読書に励みましょう！

対象資料：中央図書館・経済学部分館資料
(※医学分館所蔵資料は対象外)

貸出期間：7月27日月～9月16日水

返却期限：9月30日水



■ ギャラリー展示 「被爆70年を考える現代美術展 2015」

長崎大学名誉教授・井川惺亮先生の現代アートグループ「RING ART」と水産・環境総合研究科・山口恭弘教授によるコラボレーション展を開催します。被爆70周年祈念としてアートによる平和を表現し、その尊さを発信します。ぜひご観覧ください。

期 間：8月19日水～30日日

場 所：中央図書館1階ギャラリー

ギャラリートーク：8月19日水 14:00～15:30

今号の表紙



中央図書館で時間外職員として勤務している経済学部3年・林田大樹さん。図書館での仕事やおすすめの本について話してくれました。

Q. 図書館でのアルバイトは何年目？

A. 今年で2年目になります。

Q. どんな仕事をしているの？

A. 私たちアルバイトは基本的にカウンターで、本の貸出・返却を行っています。決まった時間に返却された本を元の場所に戻す作業を行い、書架整理等を行います。

Q. 図書館の仕事でこれは楽しい！ということを教えてください。

A. 書架整理が楽しいです。書架整理とは、本を正しい場所に並べ直す作業のことで、作業しているといろんな本との出会いがあっておもしろいです。

Q. おすすめの本を教えてください。

A. 恩田陸さんの『夜のピクニック』です。高校時代に読みました。



中央館2F：文庫
913.6||065

図書ID：1533381